

災害復元 支援事業

セブン-イレブン記念財団は、大規模な地震や火災、台風など自然災害の被災地を復元するために、復興の森づくり活動や義援金募金活動など、さまざまな活動を行っています。

◎ 義援金募金活動

大規模な地震や火災、台風などの深刻な被害が予想される広域災害発生の際は、セブン-イレブン加盟店のセブン-イレブンみどりの基金のステッカーを貼り替え、義援金募金活動を行っています。皆様からのご厚意は、心を込めて被災地へお届けしています。



『宮崎県口蹄疫被害』の義援金は、宮崎県へお届けしました

災害地復旧のための募金活動

災害発生日・災害名	店頭募金額	募金期間	実施店	お届け先
2010年(平成22年)10月 『鹿児島県奄美地方における大雨災害』	470万889円	2010年(平成22年) 10月23日～11月7日	九州	鹿児島県
2010年(平成22年)5月 『宮崎県口蹄疫被害』	5289万7329円	2010年(平成22年) 5月20日～6月2日	全国	宮崎県
2010年(平成22年)4月14日 『中国青海省地震災害』	3142万8827円	2010年(平成22年) 4月15日～4月30日	全国	日本赤十字社
2010年(平成22年)2月27日 『チリ大地震災害』	3629万888円	2010年(平成22年) 3月1日～3月14日	全国	日本赤十字社

1994年からこれまでの義援活動の総額 17億9220万4714円(見舞金・物品を含む)

◎ 自然災害復元活動

● 三宅島緑化プロジェクト

2000年(平成12年)の雄山の大噴火により、全島民が島外に避難する大きな災害に遭った三宅島(東京都)の植樹再生と島の復興を目的として活動しています。

NPO団体への支援としては、都内の高校や大学と連携して三宅島の植樹活動をしているNPO法人 園芸アグリセンターの「三宅島緑化プロジェクト」を支援しました。記念財団の活動としては、5月と10月の二度、(株)セブン-イレブン・ジャパンおよび(株)セブン&アイHLDGS. 各社から社員のボランティアを募り、延べ219人が2.2haに7,000本を植樹しました。

これまでの累計は参加者463名、面積約6.2ha、植樹本数15,000本となりました。



2010年10月 第5回の活動

● 支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり

「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」は、2006年に北海道森林管理局・石狩森林管理署とセブン-イレブン記念財団が「国有林における森林整備等の活動に関する協定」を結び実行委員会を立ち上げて開始した、市民の手で100haに10万本の植樹を行う森づくりです。2010年度は、北海道森林管理局と包括協定を結び、事業を引き継いだ「NPO法人 支笏湖復興の森づくりの会」の春植樹や夏の下刈り、秋の同窓会などの復興の森づくりを支援しました。



2010年夏の下刈り